



令和2年度労働事情実態調査結果

本調査は、会員組合の組合員等で従業員規模300人未満の1,000事業所（製造業500事業所、非製造業500事業所）を対象に、中小企業における労働事情（経営状況、労働時間、雇用環境、賃金等）を的確に把握し、適切な労働対策を樹立することを目的に、毎年7月1日を調査時点として全国一斉に実施しています。回答数は、553事業所（製造業255事業所、非製造業298事業所）でした。調査にご協力いただき、ありがとうございました。

また、本誌には抜粋して掲載しました。全項目の調査結果につきましては、当中央会のホームページ(<http://www.chuokai-mie.or.jp/>)に掲載いたします。

1. 経営について

(1) 現在の経営状況【図1】、【表1】

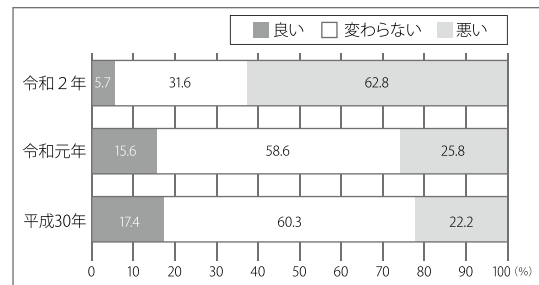
1年前と比べた現在の経営状況については、「悪い」が62.8%（前年度25.8%、前々年度22.2%）、「良い」が5.7%（前年度15.6%、前々年度17.4%）、「変わらない」が31.6%（前年度58.6%、前々年度60.3%）となっている。「悪い」とするのは前年度に比べ大きく37.0ポイント増加している。全国平均（61.5%）と比べても1.3ポイント高い。「良い」とするのは前年度に比べ9.9ポイント、「変わらない」が27.0ポイント下降した。業種別にみても、製造業、非製造業ともに「悪い」という回答が多く、「運輸業」（81.1%）、次いで「食料品製造業」（79.1%）を始め、ほとんどの業種においてコロナ禍の影響を受けて経営状況が急激に悪化していることがうかがえる。

2. 新型コロナウイルス感染拡大による影響について

(1) 経営への影響について【図2】

経営への影響は「売上高の減少」74.1%（全国69.9%）が最も多く、次いで「取引先・顧客からの受注減少」60.2%（全国57.4%）、「営業活動等の縮小」29.4%（全国37.4%）、「休業の実施」23.7%（全国25.1%）、「資材・部品・商品等の調達・仕入難」20.1%（全国16.6%）となっている。業種別では、「売上高の減少」が製造業78.6%・非製造業70.3%、「取引先・顧客からの受注減少」が製造業67.9%・非製造業53.7%となっている。

【図1】 経営状況



【表1】 経営状況（業種別）

区分	良い (%)	変わらない (%)	悪い (%)
全国計	6.5	32.0	61.5
三重県計	5.7	31.6	62.8
製造業計	4.7	24.8	70.5
食料品	4.7	16.3	79.1
繊維工業	0.0	26.7	73.3
木材・木製品	3.0	30.3	66.7
印刷・同関連	11.1	11.1	77.8
窯業・土石	7.1	38.1	54.8
化学工業	33.3	33.3	33.3
金属・同製品	5.5	21.8	72.7
機械器具	3.2	29.0	67.7
その他製造業	0.0	13.0	87.0
非製造業計	6.5	37.4	56.1
情報通信業	33.3	33.3	33.3
運輸業	5.4	13.5	81.1
建設業	6.9	48.3	44.8
卸売業	5.0	35.0	60.0
小売業	2.2	45.7	52.2
サービス業	9.6	25.0	65.4

【図2】 新型コロナウイルス 経営への影響

